

本号では、「高齢者」をテーマに各分野の先生方からの最新情報が提供されました。また、今年度は今までに経験のない新型コロナウイルス感染症（COVID-19）という事態に遭遇し、今更ながら高齢者の栄養状態が感染予防のためにもっとも重要な因子であることが再認識できた年でもあります。本号は、「高齢透析患者の栄養管理」と題し、総論として花房先生からは透析導入期について、神田先生からは維持透析期の栄養状態の現状について執筆いただきました。そして、脇野先生には、ビタミン・微量元素といった日頃なじみの少ない栄養成分について執筆いただきました。各論では、認知症患者や、オーラルフレイルといった身体所見の異常に始まり、具体的な栄養摂取状況や対処

方法の工夫点について、さらに患者を取り巻く家庭環境やリハビリテーションの方法や栄養補給法について管理栄養士の皆さんに執筆いただきました。また、腹膜透析は血液透析とは栄養管理が異なるため、高齢腹膜透析患者の特性については加藤先生をお願いいたしました。最後に、低栄養患者向けの栄養補給方法について輸液・経管栄養について具体的に提示いただきました。高齢本透析患者においては、過剰摂取というよりむしろ摂取不足による低栄養が今後ますます大きな課題として、われわれ透析関係者に押し掛かってくるのが想定できます。本号が低栄養の早期発見・早期治療を目指して行う際の参考になれば幸いです。（市川 和子）

2020年(Vol. 36)特集のご案内

- No.① 透析患者の感覚器障害
- No.② 透析液・透析関連排水の諸問題
- No.③ 腎代替療法と Shared Decision Making
- No.④ 世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療
- No.⑤ 近未来の透析医療
- No.⑥ 透析患者の脳血管障害
- No.⑦ 透析患者 PAD の最前線
- No.⑧ バスキュラーアセス
—トラブルを少なくするために
- No.⑨ 血液浄化機器 2020〔増刊号〕

- No.⑩ ・透析患者における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）
・透析患者の ADL と QOL
—その評価法と対策
- No.⑪ 高齢透析患者の療養生活支援
—事例を通して見えてくるもの
- No.⑫ 慢性腎臓病・透析患者の酸化ストレス
—最新知見と治療展開
- No.⑬ 高齢透析患者の栄養管理

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.36 No.13

© 2020 年 12 月 10 日発行
定価：（本体 2,600 円＋税）

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541